

厚生労働省委託事業

希少がん対策ワーキンググループ・四肢軟部肉腫分科会第4回検討会

日時： 平成29年1月18日 15時30分-18時30分

場所： 国立がん研究センター診療棟3F大会議室

プログラム：

1. 分科会長挨拶
2. 資料説明
3. 課題検討
 - 四肢軟部肉腫専門施設の条件と公開項目の確認
 - 病理診断の正確性の確保に向けた検討
 - 非専門医の教育の計画
4. 閉会

配布資料：

1. 情報公開プログラムの関連
 - a) 検討事項リスト
 - b) 専門施設情報公開プログラムの参加募集のご案内
 - c) 専門施設要件に関する説明書
 - d) 情報公開情報収集票
 - e) 情報公開情報収集説明書
2. 出席者・委員一覧

情報公開プログラム・検討事項リスト

→3年間、何例以上との設定が良いか

初回治療開始例、に注意

→待ち日数はオプションで良いか

(中央集計はまだできない。施設の中での集計は大変すぎる)

→中央集計のやり方

日本整形外科学会骨・軟部腫瘍登録による中央集計は可能か?

自分でやる施設と中央集計の施設の差異がでるか

→以下は要件か、情報公開項目か

- ・外部の若手に対する手術トレーニングプログラム
- ・定期的な院外合同のカンファレンス
- ・核医学の連携はPETのことで良いか、また要件か?

→薬物療法の標準療法、の表現は適切か

→別紙の内容は適切か

→今後の進め方について

施設応募は全拠点病院でよいか? or 3年連続で四肢軟部の症例があったところだけ?

応募期間は適切か 2月に応募、情報は3月

参加募集文の文言は適切か

学会へは連絡が必要か

要件を満たすかどうかの検証はどの程度すべきか

満たさない施設への連絡は?

情報公開の場所は「がん情報サービス」で良いか?

平成 29 年 1 月 18 日

四肢軟部肉腫・専門施設情報公開プログラムの参加募集のご案内

時下ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、厚生労働省より国立がん研究センターへ委託された「希少がん対策事業」の一環として、一定の要件を満たす「四肢軟部肉腫（体幹表面を含む）」の専門施設を募集し、当センターのホームページにて、情報公開を行うことになりました。

これは患者が四肢軟部肉腫を診断あるいは疑われた時に、「専門施設がどこにあるのか、またその施設の体制や実績がどのようなものか」を客観的なデータからわかるようにすることを目的としています。四肢軟部肉腫の専門施設の要件は別紙 1 の通りですので、貴施設が該当する場合には、ご参加のほど、どうぞよろしく願いいたします。（案内は全国のがん診療連携拠点病院に差し上げています。）

本プログラムは、厚生労働省「希少がん医療・支援のあり方に関する検討会」において、専門施設の情報公開が求められていることに基づいて行われており、専門施設の要件は「希少がん対策ワーキンググループ四肢軟部肉腫分科会」において定められました。

貴施設がご参加を希望される場合には、添付の申込書（別紙 2）に必要事項を記入・捺印の上、平成 29 年 2 月 28 日必着で下記宛先にご送付ください。

またご参加の場合、情報公開と参加要件の確認のため、平成 29 年 3 月 31 日までに別紙 3 の項目について漏れなく記入の上ご返送ください。ただし、項目の一部については既に国立がん研究センターにご提供いただいた院内がん登録データで中央集計をして提供することが可能です。中央集計をご希望の場合には、申込書とともに別紙 4 の中央集計依頼書をお送りください。結果は集計でき次第施設にお返しします。

本プログラムは、患者および一般医療者に対して、専門施設に関する正確な情報を提供することを目的としたものです。申込み頂いても条件を満たさない場合には、公開プログラムに参加いただくことはできません。また後に頂いたデータについては、厳格な検証を行い正確性が担保されるまでは保留となる可能性があることにご注意ください。

何かご不明の点がありましたら、いつでも希少がん対策ワーキンググループ事務局へお知らせください。

希少がん対策ワーキンググループ事務局： 担当 今埜・東
(国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部)

別紙 2

平成 29 年 月 日

四肢軟部肉腫・専門施設情報公開プログラム申込書

国立がん研究センター希少がん対策ワーキンググループ

事務局長 東 尚弘 殿

施設名：

施設長：

印

この度募集のありました、四肢軟部肉腫専門施設情報公開プログラムにつき、当院は別紙 1 に定める四肢軟部肉腫の専門施設の要件を満たしており参加を申し込みます。尚、申込みにあたり、以下の点について確認・了解しました。

記

- ・ 指定された期日までに定められた情報公開項目を提供すること
- ・ 情報公開項目の確認のために国立がん研究センターあるいは厚生労働省の既に保有する貴院に関する情報（院内がん登録・現況報告データなど）を使用することがあること
- ・ 情報公開項目情報に変更が生じた場合には、速やかに事務局へ連絡すること
- ・ 情報公開項目情報の正確性の検証活動に協力すること
- ・ 要件を満たさない場合には、情報公開プログラムに参加できない場合があること

以上

本件連絡担当者：

担当部署：

Email：

電話：

未定稿

別紙4（必要に応じ別紙2と同時に提出ください）

平成29年 月 日

四肢軟部肉腫・専門施設情報公開プログラム中央集計依頼書

国立がん研究センター希少がん対策ワーキンググループ

事務局長 東 尚弘 殿

施設名：

施設長：

印

四肢軟部肉腫専門施設情報公開プログラム参加に必要な、情報公開のうち、院内がん登録を使って算出が想定されている、項目番号28の集計値について、既に全国集計のために提出されている当院の院内がん登録2015年データから算定し、当院担当者へ提供されることを希望します。

尚、以下の点について確認し了解しております。

記

- ・ 貴事務局が当院の院内がん登録データ2015年症例を本目的のために集計すること。
- ・ 集計値を確認後使わない場合には、その理由を事務局に通知すること

以上

担当者名：

所属部署：

連絡先 email:

未定稿

別紙 1

四肢軟部肉腫（体幹表在肉腫を含む）専門施設情報公開プログラム 専門施設要件説明書

今回の専門施設情報公開プログラムは、以下の要件を満たした施設にご参加いただくことを想定しています。プログラム参加にご応募いただいても、要件を満たされない場合には、ご参加いただけない場合がありますので、ご注意ください。

1. 全体条件

(1)新規診断・治療開始例

平成 25 年、26 年、27 年など過去 3 年連続して四肢軟部肉腫の新規診断・治療開始例が 1 例以上あること。

(2)情報公開

別紙の「四肢軟部肉腫専門施設・情報公開用記入シート」の情報を全て（オプション項目除く）提供して頂き、その国立がん研究センターのホームページで一般向け公開することに同意頂けること

2. 病理診断

(1)専門医

肉腫の診断可能な常勤病理専門医がいること（当該病理医の氏名・経歴を公開）

(2)診断

術中迅速診断ができる体制にあること（実際に行っているかどうかではない）

3. 放射線診断

(1)専門医

放射線科診断専門医が常勤していること。

(2)連携

核医学検査（PET）を行う施設を持っているか、あるいは、そのような施設と連携があること。

4. 外科手術

(1) 専門医

軟部肉腫専門の整形外科専門医 2 名常勤勤務していること（当該整形外科医の氏名・経歴を公開）。

5. 放射線治療

(1) 放射線治療医

放射線科治療医が常勤 1 名以上勤務していること（当該放射線治療医の氏名・経歴を公開）

6. 薬物治療

(1) 専門医

肉腫の薬物療法を可能な常勤薬物療法専門医が 1 名以上勤務していること（当該薬物療法専門医の氏名・経歴を公開）

7. 横断的事項

(1) 肉腫に関する Tumor Board の定期的な開催

外科医・腫瘍内科医/薬物療法専門医、放射線治療医が定常的に参加していること。
（毎回必ず出席でなくても良いが、定常的に参加すること）

(2) 他職種の確保

リハビリテーション専門医、理学療法士、作業療法士、精神科医、臨床心理士、社会福祉士/精神福祉士（MSW）がそれぞれ常勤で勤務していること。

(3) 外部に対して手術トレーニングプログラムがあるか

肉腫診療に関して院外の医師に対して手術トレーニングを提供するプログラムがあること。

(4) 定期的な院外合同のカンファレンスがあるか

肉腫患者に関する、院外の医師を含めたカンファレンスを定期的を開催していること

8. 研究関連

(1) 論文

肉腫に関する英文論文が年 1 篇以上あること。（他施設との共著でも良い）。

9. データの検証

情報公開シートで提供頂いた情報について、必要に応じてデータ検証作業に協力していただくこと。